

# 東京2020オリンピック・パラリンピック期間中及び終了後の区の実施について

# 目次

## I 大会期間中の取組み（報告）

---

- 1 聖火リレー 3
- 2 子どもたちに大会との関わりを創出 7
- 3 難民チーム事前キャンプ 11
- 4 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業の縮小・中止 12

## II 大会終了後の取組み

---

- 1 イベント・催し 14
- 2 装飾・展示 15
- 3 東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金の活用 16
- 4 その他 17

# I 大会期間中の取組み(報告)

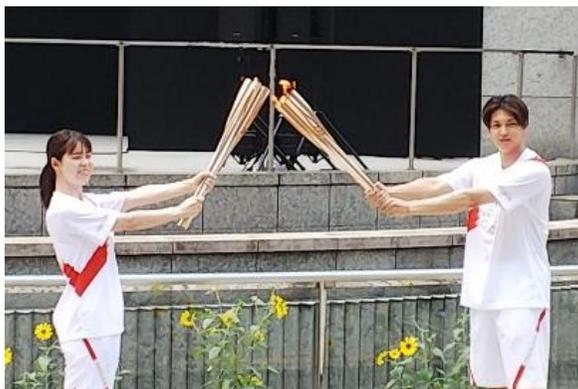
# 1 聖火リレー

## (1) 東京2020オリンピック聖火リレー

- ▶ 東京都内の聖火リレーは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うまん延防止等重点措置及び緊急事態宣言により島しょ地域を除いて公道走行は中止となりました。
- ▶ 新宿区では、7月23日に東京都庁都民広場において、無観客での点火セレモニーが開催されました。

<新宿区内の開催結果>

東京2020オリンピック聖火リレー 点火セレモニー（東京都15日目）	
主 催	東京2020組織委員会、東京都聖火リレー実行委員会
日 時	令和3年7月23日(金・祝) 11時10分～13時
会 場	東京都庁都民広場（新宿区西新宿2-8-1） ※無観客開催
主なプログラム	自治体代表挨拶（新宿区長）、トーチ点火、トーチキス、フォトセッション、ブルーインパルス飛行 他



トーチキスの様子



フォトセッション

# 1 聖火リレー

## (2) 東京2020パラリンピック聖火リレー

- ▶ 東京都では、都内62全区市町村において採火（式）が行われ、8月20日に東京都庁都民広場で行われた集火式により、パラリンピック聖火の東京都の火となりました。
- ▶ 緊急事態宣言により都内の公道走行は中止となりましたが、点火セレモニーや聖火ビジットによって気運の盛り上げが行われました。
- ▶ 新宿区では、8月20日に採火式、聖火ビジットを実施しました。また、東京都障害者総合スポーツセンターにおける点火セレモニーでは、区内を走行予定だったランナーがトーチキスをつなぎました。

### ① 採火式

- ▶ 新宿区の採火式では、新宿区役所で灯り続けている「平和の灯」から採火を行いました。
- ▶ 採火式には、新宿区障害者団体連絡協議会、新宿区障害者福祉協会の方々や、新宿区の平和啓発事業「親と子の平和派遣」に参加された子どもたちにも出席していただきました。
- ▶ 東京2020パラリンピックを契機として、未来を担う若い世代の方々とともに、誰もがいきいきと暮らせる共生社会の実現を目指していくという思いを「新宿区の火」に込めました。

#### <概要>

主催	新宿区
日時	令和3年8月20日（金）9時30分～9時50分
会場	新宿区役所本庁舎1階 平和の灯前
出演者	新宿区障害者団体連絡協議会、新宿区障害者福祉協会、平和派遣事業に参加の子どもたち
主なプログラム	区長挨拶、採火及びランタンへの点火、子ども代表挨拶、フォトセッション



平和の灯から採火した火をランタンに点火する様子

# 1 聖火リレー

## ② 聖火ビジット

- ▶ 新宿区の火は、東京都の集火式で都内の他自治体の火とともに東京都の聖火となり、区内の4つの福祉施設を巡りました。
- ▶ 各施設を動画でつなぎ、一斉に聖火をランタンに灯しました。その後、ランタンに灯った聖火の展示やセレモニーが各施設で行われ、聖火の到着を盛大に祝いました。
- ▶ 障害者福祉センターでは、オリジナルの聖火台を設けました。聖火台の周りは、ウォールアート作品や新宿福祉作業所の等身大アート等で華やかに彩られました。

### <概要>

主催	新宿区
日時	令和3年8月20日（金）14時頃～17時頃
会場	あゆみの家、高田馬場福祉作業所、新宿生活実習所、障害者福祉センター
主なプログラム	<ul style="list-style-type: none"><li>・すべての施設で15時に一斉にランタンに聖火を点火</li><li>・セレモニーや展示</li></ul>



障害者福祉センターにおけるセレモニーの様子



ランタンに灯った聖火の展示

# 1 聖火リレー

## ③ 点火セレモニー

- ▶ 東京都内の聖火リレーは、オリンピックと同様に公道走行が中止となり、東京都障害者総合スポーツセンターで点火セレモニーが開催されました。
- ▶ 点火セレモニーでは、新宿区を走行予定だったランナーがトーチキスをつなぎました。

### <概要>

#### 東京2020パラリンピック聖火リレー 点火セレモニー（東京都1日目）

主 催	東京2020組織委員会、東京都聖火リレー実行委員会
日 時	令和3年8月20日（金）14時50分頃～15時15分頃
会 場	東京都障害者総合スポーツセンター（北区十条台1-2-2） ※無観客開催
主な プログラム	自治体代表挨拶（新宿区長）、トーチ点火、トーチキス、 フォトセッション 他



3人1組で聖火リレーが行われました。



トーチキスの様子

## 2 子どもたちに大会との関わりを創出

### (1) 子どもたちによる応援タペストリー

- ▶ 区立小学校・中学校・特別支援学校全40校の児童・生徒が、東京2020大会に出場する選手をはじめ大会に関わる人々を応援する気持ちを込めて熱心にデザインを考え、タペストリーを制作しました。各校オリンピック、パラリンピック1点ずつ制作し、全80作品となりました。
- ▶ 大会期間中に開催を予定していたコミュニティライブサイトにおいて一斉に展示する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大によりイベントが中止となったため、新宿スポーツセンターや特別出張所等の区施設で展示を行いました。
- ▶ また、観光案内所等のデジタルサイネージへの掲出や広報新宿への記事掲載等により、広くPRを行いました。施設を訪れる多くの方々に子どもたちの想いがこもった作品を見てもらうことで、区内の大会気運が大いに盛り上がりました。

#### ① 新宿スポーツセンターにおける作品展示

【展示期間】7月21日(水)～9月5日(日)

【展示作品】東京2020オリンピック  
応援タペストリー 40作品



#### ② 各特別出張所等区民施設における作品展示

【展示期間】7月21日(水)～9月5日(日)

【展示作品】東京2020パラリンピック  
応援タペストリー 40作品  
(各所2～6作品を展示)



四谷特別出張所(1階)

榎町地域センター(2階)

## 2 子どもたちに大会との関わりを創出

### ③ 新宿観光案内所屋外サイネージ「K-vision」における作品放映

【放映期間】7月23日(金)～9月30日(木)

【放映作品】東京2020オリンピック及び  
パラリンピック応援タペストリー  
全80作品

(5分に1回程度)



### ④ 新宿駅東西自由通路デジタルサイネージ における作品放映

【放映期間】オリンピック応援40作品：  
7月19日(月)～8月8日(日)

パラリンピック応援40作品：  
8月23日(月)～9月5日(日)

【放映作品】東京2020オリンピック及び  
パラリンピック応援タペストリー  
全80作品

(1時間に4回程度)

### ⑤ 広報新宿への記事掲載

【掲載号】オリンピック応援40作品：7月25日号

パラリンピック応援40作品：8月25日号



◀ 広報新宿 7月25日号 (7画)



▶ 広報新宿 8月25日号 (4画)

## 2 子どもたちに大会との関わりを創出

### (2) デジタルサイネージを活用したステージ動画の放映

- ▶ 区内の学校や団体等から東京2020大会を応援する動画を募集し、区施設のデジタルサイネージを活用して放映することにより、大会期間中のさらなる気運の盛り上げを図りました。
- ▶ 中止となったコミュニティライブサイトにおいて、ステージ出演を予定していた団体の皆様の発表の機会を創出するため、事前に撮影されたパフォーマンス映像を発信したものです。

<概要>

放映日程	令和3年7月21日(水)～9月30日(木)
放映場所	区役所本庁舎、新宿コスミックセンター、新宿スポーツセンター、特別出張所10所〔計13施設〕
参加団体 (作品内容)	<ul style="list-style-type: none"><li>・新宿西戸山中学校（書道パフォーマンス、吹奏楽演奏）</li><li>・目白大学QUAKES（チアリーディング）</li><li>・桜美林大学沖縄エイサー部（沖縄エイサー演舞）</li><li>・慶應義塾大学チアリーダーズunicorns（チアリーディング）</li><li>・牛込一輪車クラブ（一輪車パフォーマンス）</li><li>・西戸山トワラーズ（バトントワリング）</li><li>・NPO法人カポエイラ・テンポ（カポエイラ演舞）</li><li>・東京消防庁音楽隊（金管バンド演奏及びフラッグパフォーマンス）</li></ul> 〔8団体 計9作品〕



新宿西戸山中学校の書道パフォーマンス  
(区役所本庁舎)

### (3) 新宿オリジナルクールネックタオルの製作・配布

- ▶ 東京2020大会の競技を観戦する子どもたちの暑さ対策等として、新宿区出身の野老朝雄氏による「新宿オリジナルデザイン」を使用したクールネックタオルを製作しました。
- ▶ タオルは、区内の保育園、幼稚園、子ども園や区立小・中・特別支援学校等の子ども達に配布しました。パラリンピックの競技観戦時に子どもたちが持参したほか、学校や自宅など競技会場以外での観戦時にも活用していただき、区内全体で一体感をもって大会を応援する気運が醸成されました。

## 2 子どもたちに大会との関わりを創出

### (4) 学校連携観戦プログラム

- ▶ 新宿区教育委員会は、パラリンピック競技観戦は教育的効果が大きく、直接観戦することが子どもたちにとって貴重な経験になることの重要性に鑑み、学校連携観戦を実施しました。
- ▶ 緊急事態宣言期間中の実施にあたり、会場まで貸し切りバスを使用しての移動、競技観戦時の座席間隔を十分に取るなど、感染症対策を徹底しました。また、遮光ボードや熱中症対策グッズなど、熱中症対策についても十分に行いました。
- ▶ 徹底した感染症対策の中、声援の代わりに大きな拍手を送ったり、事前に選手に向けて準備した応援メッセージを記入したボードを掲げたりと、子どもたちは熱心に競技を観戦し、選手を応援しました。
- ▶ スポーツの感動だけでなく、ボランティアなど多くの人の支えで大会が成り立っていることに気づくなど、パラリンピック競技観戦は子どもたちにとって大きな財産となりました。

#### <概要>

実施日程	令和3年9月1日(水)～3日(金) 及び9月5日(日)〔計4日間〕
参加者 (参加率)	小学校(第4学年～第6学年) 3,660名(78.0%) 中学校 729名(26.6%)



競技観戦の様子  
(津久戸小学校)



英語で応援メッセージ  
(落合第四小学校)

#### <参加した子どもたちの感想>

- ・「選手がすごくかっこいい！見に来るのを楽しみにしていたよ。」
- ・「直接選手を応援できるから競技場に入れて嬉しい。とても良い思い出になった。」
- ・「選手に見えるように英語で応援メッセージ書いてきたよ。来られてすごく嬉しい。」
- ・「テレビでは見ることができない、関係スタッフやボランティアにより大会運営が支えられていることが実感できた。」

### 3 難民チーム事前キャンプ

- ▶ 区内にある早稲田大学と協力し、東京2020オリンピックに出場した難民チームの事前キャンプ受入れを行いました。  
※ 難民チーム：紛争や迫害により故郷を追われた難民アスリートで構成された選手団
- ▶ 受入れにあたっては、区民の安心・安全に配慮し、区民と選手団との動線を分離し、練習場や宿泊施設などからの外出禁止やアテンドスタッフの帯同、練習場などへの移動にすべて専用車両を使用するなど、選手団側が新型コロナウイルス感染症対策を徹底するよう調整を図りました。
- ▶ 感染拡大防止の観点から、区民と選手団との直接の交流は叶いませんでしたが、区内小学校の児童や幼稚園の園児から様々なプレゼントを行いました。選手団からは、直筆のメッセージやサイン入りタペストリーのお返しがあり、間接的な交流が実現しました。
- ▶ この交流を通じて、子どもたちが難民について興味を持ち、学ぶきっかけとなりました。

#### <概要>

実施場所	早稲田大学早稲田キャンパス・戸山キャンパス
実施期間	令和3年7月12日（月）～7月27日（火）
来日選手	13名（コーチ・スタッフ14名） 陸上、柔道、テコンドー、カヌー（スプリント）、 空手（組手）、レスリング



子どもたちの応援メッセージタペストリー（左）  
選手からの直筆メッセージ、サイン入りタペストリー（右）

## 4 新型コロナウイルス感染症の拡大による事業の縮小・中止

▶ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、縮小・中止した大会期間中の主な事業は以下のとおりです。

事業の名称等	予定した事業の概要	結果
東京2020大会 コミュニティライブサイト in新宿区	【日程】 東京2020オリンピック及びパラリンピック期間中 【場所】 新宿住友ビル三角広場(オリ)、工学院大学新宿キャンパス(パラ) 【内容】 大型スクリーンを活用した競技中継、スポーツ体験、 区民団体によるステージ発表、子どもたちの作品展示、 地域の魅力の発信、障害理解の促進 など	中止
メモリアルトーチ展 (聖火トーチ展)	【日程】 東京2020オリンピック期間中 【場所】 コミュニティライブサイト会場と同 【内容】 歴代の夏季オリンピックのトーチ展示 など	中止
東京2020オリンピック 聖火リレー(公道走行)	【日程】 令和3年7月23日(金・祝) 【場所】 新宿駅周辺ほか 【内容】 ・都庁北側ビル前広場でのセレモニー ・新宿駅周辺等の聖火ランナーの走行(約8.6km)	中止 ⇒点火セレモニー へ変更(P3)
東京2020パラリンピック 聖火リレー(公道走行)	【日程】 令和3年8月20日(火) 【場所】 新宿駅周辺ほか 【内容】 ・東京都庁都民広場から歌舞伎町シネシティ広場におけ る聖火ランナーの走行(約1.5km) ・ゴール地点のシネシティ広場でのセレブレーション	中止 ⇒点火セレモニー 等へ変更(P4)
新宿2020サポーター の活動	【内容】 ・コミュニティライブサイトにおける受付や会場案内 ・聖火リレーにおける沿道整理 など	イベント中 止に伴う活 動の機会の 縮小

## Ⅱ 大会終了後の取組み

# 1 イベント・催し

## ◇ 東京2020大会報道写真展（予定）

- ▶ 東京2020オリンピック・パラリンピックの感動や興奮を区民の皆様に変更して感じていただけるよう、大会を振り返る写真展を実施します。

＜概要（予定）＞ ※詳細は、HP等により周知します。

実施時期	令和3年11月下旬～令和4年3月下旬
実施会場	新宿スポーツセンター（1階）
主な内容	東京2020オリンピック・パラリンピックの報道写真（朝日新聞社）の展示 ほか

## 「未来につなごう！希望の想いを 2020☆1 メモリアル聖火トーチフォトスポットリレーキャラバン」

【主催】SHINJUKU MEMORIAL FESTA実行委員会

【後援】新宿区、新宿区教育委員会

- ▶ 聖火リレーのトーチを直接間近でみる体験を通して、児童・生徒一人ひとりの心とからだにレガシーを残すことを目的として、東京2020オリンピック聖火リレートーチ及び東京2020パラリンピック聖火リレートーチが区立小学校、中学校、特別支援学校を回っています。
- ▶ 東京都に発出されていた緊急事態宣言が解除された10月1日に富久小学校からスタートしました。12月中旬までに、全40校を回る予定です。  
※ 感染症対策を徹底した上で実施
- ▶ 児童・生徒が将来にわたって東京2020大会や2021年を振り返ることができるよう、トーチと一緒に写真を撮影しています。



記念撮影の様子（天神小学校）

## 2 装飾・展示

### ◇ シティドレッシングの継続

- ▶ 区立学校等における陸上競技シルエットシール及び区内歩道上の配電地上機器ラッピングは、令和4年以降も設置を継続し、次世代に継承します。
- ▶ マスコット像についても、大会のレガシーとして引き続き新宿スポーツセンターで展示します。
- ▶ エレベーターや壁面ラッピング等、その他の装飾については、令和3年12月末までに撤去します。

陸上競技シルエットシール



配電地上機器ラッピング



※令和6年度に撤去予定

大会マスコット像



令和4年以降も  
設置を継続する  
装飾及び展示物

### ◇ 聖火リレートーチ等の展示

- ▶ 大会の感動を次世代に引き継ぐため、聖火リレーのトーチや聖火ランナーのユニフォームなどを区施設に展示しています。  
【展示場所】新宿区役所第一分庁舎（地下2階）、新宿スポーツセンター（2階）  
【展示期間】令和3年10月～（令和4年3月頃までの予定）



聖火リレートーチ及び  
ランナーユニフォームの展示  
（区役所第一分庁舎）

### ◇ 銘板の製作・設置（予定）

- ▶ 大会時の様子を伝える銘板を製作・設置し、大会の感動を将来にわたって刻みます。  
【設置場所】新宿区役所本庁舎1階（予定）  
【設置時期】令和4年2月（予定）

### 3 東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金の活用

#### ◇ 東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画事業助成

- ▶ 区民等が行う東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー創出等に資する自主的な活動で、新宿区内で実施するものに対し、助成を行いました。
- ▶ 感染症対策を徹底した上で、助成金交付決定を受けた16事業が随時実施しています。

※ 対象事業期間：令和3年12月31日（金）

#### 区立中学校生徒会 ポッチャ大会



障害者スポーツに親しみ、楽しむことを通して障害者理解を一層深めることを目的に、区立中学校生徒会役員が中心となり、生徒、教職員から参加者を募って、東京2020大会に向けたポッチャ大会が開催されました。

#### 藍の生葉染めによる東京2020大会応援フラッグ等製作



令和元年度には、落合地域の伝統文化である染色を学び、一緒に藍を育てる事業が落合地域の区立小学校で実施されました。

今年度は、育てた藍を用いた生葉染めによる、東京2020大会応援フラッグやくるみボタン製作のワークショップが開催されました。



#### ◇ 令和4年度以降について（基金の残の活用）

- ▶ 大会の終了に伴い、令和3年度を以て同基金は役目を終えることとなります。
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う区民参画助成事業の中止等により発生した基金の残については、令和4年度から「新宿区スポーツ施設整備基金」に移行します。
- ▶ スポーツ施設の整備を図ることにより区民のスポーツ参加意欲を促進し、「誰もが気軽に身近な施設でスポーツを楽しむ」ことを大会後のスポーツレガシーとして引継いでいきます。

# 4 その他

## ◇ 東京2020大会活動報告書

- ▶ 東京2020大会が区民の皆様の生涯の記憶に残るものとなるよう、当協議会を含む大会の気運醸成に向けた取り組みや大会期間中の取り組み、大会後のレガシーなどを報告書にまとめます。
- ▶ 報告書は、図書館や区政情報センター等での閲覧に供するほか、区のホームページにて公開します。  
＜発行予定＞令和3年12月以降



活動報告書のイメージ

## ◇ デジタルサイネージを活用した地域情報の発信等

- ▶ 東京2020大会のPRを行ってきたデジタルサイネージは、特別出張所等の各施設に移管し、地域情報の発信や施設の利用案内などに活用しています。  
＜設置場所＞  
特別出張所10所、新宿コズミックセンター、新宿スポーツセンター、四谷スポーツスクエア（JR信濃町駅より移設）、新宿文化センター（区役所本庁舎より移設）  
〔計14か所〕

## ◇ 新宿2020サポーターから他のボランティアへの継承

- ▶ 東京2020大会に向けた区独自のボランティア制度「新宿2020サポーター」には、500名の方に登録していただきました。
- ▶ 感染症の拡大による事業の中止等に伴い、活躍の場が縮小してしまいましたが、区内には身近な地域で手軽に始められる様々な地域活動やボランティア活動があります。
- ▶ 新宿2020サポーターで培ったボランティア精神は、新宿区、新宿未来創造財団、新宿区社会福祉協議会等の他のボランティアに継承していきます。

